

IT アーキテクト・アジャイルコミュニティ 合同会合

平成 28 年 4 月 21 日、IT アーキテクトコミュニティ(座長：高橋 健一 (株)シーエーシー 執行役員)・アジャイルコミュニティ(幹事：角野幸子 NEC ソリューションイノベータ(株))合同会合が JISA 会議室で開催された。出席者は 20 名。

「IT アーキテクト」「アジャイル」各コミュニティの関心事は異なりますが、今回、合同開催させていただいたのは、Fintech や電力自由化など、顧客が業界で競合他社に負けずに生き残るためには、ウォーターフォール開発では厳しくなっているのでは？という共通認識があったためです。(NEC ソリューションイノベータ 岸本 大輔)

会合では「アジャイル開発における IT アーキテクトの役割とは」「アジャイル開発における契約形態について」「アジャイル開発を適用することについて顧客への伝え方」をテーマにグループ毎に分かれて議論・発表を行った。

【主な意見】

アジャイル開発における IT アーキテクトの役割とは

- ・アジャイル開発ではチーム全体がアーキテクトの役割を担うことが多い

アジャイル開発における契約形態について

- ・ユーザ企業と連携してリスクを持ち合うことが必要ではないか
- ・工数での契約ではなく、システムの価値で契約をすることが出来ないか

アジャイル開発を適用することについて顧客への伝え方

- ・成功事例を紹介する必要がある
- ・顧客が早くモノを確認することで軌道修正ができ、満足度が上がることを伝える

参加委員からは「同じ悩みを共有出来た」「アジャイルはユーザ企業と同じ方向を向いて新しい事に取り組んでいける手段」「本来のシステム開発の意義を再確認出来た」等、参加者からは新しい気づきを得られたとの意見があった。



(溝尾)